

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけっと 広島中央教室		
公表日	令和8年	1月	15日
利用児童数	26名	回収数	13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				個別課題を行うスペースと、小集団活動を実施するための十分なスペースを設けております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13				指定の配置基準を満たした人員配置となっております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				玄関からバリアフリーの構造となっており、正面に周知ができるスペースを確保し情報提供を実施しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				毎日遊具・玩具の消毒を行うとともに清掃を行い清潔を保持しております。また消毒や手洗い後の使い捨てタオルを設置しており感染防止に努めております。教室内は常に喚起、空気清浄機を使用しての清浄を行っております。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			先生が皆さん親切で寄り添ってくれる。子供の強みと伸ばしどころをしっかりと見つけてそれに合う様なアイテムをすぐに用意して次に使ってくれる。	お子様の発達段階に沿った課題を設定し個別でのデータを確実にとり、職員会議を通じて個人目標を設定しております。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				各セラピストが個別支援計画を把握し、プログラム内容と相違がないかを確認し、個別支援を行っております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13			娘のことを良く理解してくれている計画作成していただいていると思います。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				支援計画の見直し、振り返りとして個別に面談を実施しております。またご希望の際には個別相談支援を行っております。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					達成の評価を全職員で行い、次のステップにつなげております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	1	3		幼稚園や保育園からの見学や相談を受けるなど関係機関との連携を行っております。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				契約時にご説明させていただいております。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			丁寧に説明していただきました。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1		家でも簡単にできるプログラムを提供していただきました。	日頃から保護者との情報共有を大切にし、その中でご家庭でも取り組めるプログラムを提案させていただいております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				毎回丁寧に伝えていただいている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12			1		毎回のフィードバックを活用し、保護者との共有理解に努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				職員さん全員が共感的だと思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3		5	今年から、就学に向けての交流会や保護者同士の交流の場を開催してくれとても好感が持てた。	今年度より、就学に向けての交流会や保護者同士の茶話会を実施しました。今後ご希望を伺い様々なテーマで会が開けるように努めて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				相談も親身に対応してくれた。	ご相談があったときは職員間で共有し、迅速な対応に努めております。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13						
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					活動内容は、ホームページ・インスタグラム・リタリコブログで定期的に掲載しております。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					契約時の取り扱いについて説明した上で同意を得ており、特定のものを以外は見ることができないように鍵付きの書庫で管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13				とても細やかに説明してくれた。	地震・火災・水害など定期的な避難訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					ご契約時にマニュアルの存在をお伝えし、案視してご利用いただけるように配慮しております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					事故やケガには十分配慮しておりますが、万が一発生した場合はただちに保護者にご連絡をし、対応させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				親子とも非常に満足利用させていただいています。 安心感しかありません。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				親でも見逃すような子供の成長を本当によく見つけて褒めてくださるので、子供達も嬉しそうです。 先生たちに会うのが嬉しくてしかたないそうです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				一般的なアドバイスではなく子供の特性に合った具体的な有効策を教えていただけるので、とても助かっています。 困った時には、スピード感を持って対応してくれる。 てらびあげつとに出会えて本当に良かったです。	嬉しいご意見ありがとうございます。お子様が安心して楽しんで来所できるような居場所づくりに努めております。お子様や利用者様に寄り添った支援を日々ご提供していきます。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぼけっと広島中央教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個別課題を行うスペースと、小集団活動を実施するための十分なスペースを設けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		指定の配置基準を満たした人員配置となっております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		子どもの特性に合わせて具体物を用いて、わかりやすく配慮した空間に努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日遊具・玩具の消毒を行っております。また、空気清浄機を設置しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		小集団活動・個別活動に合わせて部屋を使い分けております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	4		行事や日々の個別支援に職員全員が共通意識をもって取り組めるように職員会議を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員会議を設け、その中で改善点を見つけて職員全体で課題に取り組んでおります。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日の終礼の中で達成点や課題点を見つけ職員で共有しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		現在行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		虐待防止・身体拘束・感染症予防・安全計画・BCPなどの研修の実施を行っております。また、市が行う社外研修にも積極的に参加しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		事業所のホームページにて公表されております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		計画書作成の前に必ず保護者との面談を行い、モニタリングとアセスメントの実施を行ったうえで計画書の作成を行っております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員全員で検討事例会を行い、適切な支援が行われるように努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		会議を行い、職員全員が共有できるように努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		てらびあぼけっとオリジナルのアセスメントツールを使い課題の抽出に努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		支援計画の見直し、振り返りとして個別に面談を実施しております。またご希望の際には個別相談支援を行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員全員で共有できるように会議を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		達成の評価を全職員で行い次のステップにつなげております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		プログラム自体に個別支援と小集団活動の時間を設け、それぞれの中で目標設定を行い実施しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝朝礼にて担当者の個別支援を把握し職員間で共有を図っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日の終礼を実施し、一人ひとりの達成度や改善点の抽出をして次回の改善点につなげております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		半年に一度支援計画項目ごとに、モニタリングの実施を行い状況把握に努めるとともに保護者面談を行い見直しの必要性を共有しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		児童発達支援管理責任者が参加しております。会議内での情報は全職員で共有しております。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	4		要望があれば療育の内容や目的・計画内容を共有し、相互理解に努めております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		ニーズに合わせて相談に応じたり、園などの関係機関からの見学を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		関係者会議や学校見学に行くなど情報収集に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		関係者会議や学校見学に行くなど情報収集に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		てらびあほけっとの研修内でスーパーバイズを行っております。	今後広島市の研修を積極的に受講してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			現在保護者のご要望がないため実施しておりませんが、今後交流の場を設けられるようにしていきたいと思っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		終礼の際に保護者からのご要望や発達状況について伝え合い共通理解を持っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		広島市からの家族支援プログラムなどの研修がある際は利用者が見やすい場所に掲載してご紹介しております。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明するほか最新のものを掲示しいつでも目を通すことができるようにしております	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		必ず保護者とのモニタリングを行い支援計画を作成し同意を得ております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		必ず保護者とのモニタリングを行い支援計画を作成し同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		毎回のフィードバックを活用し保護者との共有理解を努めております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		今年度より、就学に向けての交流会や保護者同士の茶話会を実施しました。今後ご希望を伺い様々なテーマで会が開けるように努めて参ります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者とのフィードバックを大切に、相談事には迅速に対応していただいております。必要に応じて関係機関との連携にも努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		活動内容は、ホームページ・Instagram・リタリコブログで掲載しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		契約時の取り扱いについて説明した上で同意を得ており、特定のものを以外は見ることができないように鍵付きの書庫で管理しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		文章や言葉だけでなく、視覚的にわかりやすく伝えることに努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			積極的な交流は図っておりません。今後、地域の祭りや行事などに参加できるように取り組みます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを整備し共有に努めております。年間計画を定めて計画的に実施しております。		
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		各種マニュアルを整備し共有に努めております。年間計画を定めて計画的に実施しております。		
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		アセスメントシートに服薬やアレルギー情報を記載し、職員間で共有しております。		
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事提供は実施しておりません。		

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		各種マニュアルを整備し共有に努めております。年間計画を定めて計画的に実施しております。	
	50	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		定期的に避難場所の周知を行っております。玄関口に避難場所の掲示をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット報告書を記載し職員間で共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止・身体拘束研修を全職員で受講しております。また、広島市の社外研修にも積極的に参加しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		虐待防止・身体拘束研修を全職員で受講しております。また、広島市の社外研修にも積極的に参加しております。マニュアルや委員会を開催し、情報共有を行っております。	

事業所における自己評価総括表

公表	令和8年1月15日		
○事業所名	てらびあぼけっと広島中央教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 6日		令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		令和8年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧なフィードバック	現状と成長点を日々お伝えしている。またさらに成長を促すために、ご家庭でできる取り組みを紹介している。	最近のお困りごとを共に分析し、改善点を見つけて実践していただくペアレントトレーニングを行っている。
2	マンツーマンで支援を行っている	お子様一人ひとりに合わせた支援を日々職員間で共有しており、それぞれの得意・不得意に合わせて個別活動の内容を変えている。	保護者の方からのアセスメントやご相談を定期的に聞き取り、職員間で共有することで、より充実した支援を行っている。
3	個別支援と小集団活動のどちらの環境も取り入れることができる	個別支援で獲得したことを小集団活動の中でも一般化できるように支援している	個別の中でも達成度を職員間で報告し合い小集団活動の中で取り組めるものを検討し共有している。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が広いので、刺激を入れたいお子様はテンションが上がりやすくなってしまう	けがの防止のために大広間は設置物を少なくしており、見通しが良くなっている	必要に応じてパーテーションなどで仕切り、お子様が安全に落ち着いて参加できるようにしていく
2	利用者の入れ替わりの際に入口が混雑することがある	玄関の構造上入口が混雑しやすいため	下駄箱を新たに設置し、利用者がスムーズに移動できるように配慮する。
3	送迎を行っていない	送迎時間を省き、マンツーマンの支援時間を充実させているため	途中送迎で職員が抜けることなく、最後までマンツーマンで支援を行っている。また、毎回保護者の方とのフィードバックの時間を確保することができる。